SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・経営トップの積極関与のもと、性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別の禁止を就業規則に規定し、相談ホットラインを設置している。・これら差別のないことについても確認済み。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントの禁止を就業規則に規定し、相談ホットラインを設置している。 ・管理職を対象としたハラスメント研修を定期的実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8										16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・過度な長時間労働防止のため、労働時間管理表を作成し、運行管理者が日々チェックしている。 ・勤怠システムにより、管理者を含めて時間外労働が一定時間を超える者については、本社で原因と防止策をチェックしている。								8.5 8.8											
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・外国人労働者については、応募がないことから現時点で雇用なし。 【予定】今後、就業規則への規定を検討する。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3									
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・毎年、運輸安全マネジメントに基づく安全衛生計画を策定し、これに沿った安全研修を月次で実施している。 ・事故事例の共有により、具体的安全対策を講じている。 ・定期的に安全に対する啓蒙活動を実施している(ビジネスチャット使用)。 ・定期健康診断また予防接種を推奨し、費用の一部負担のほか、奨励金を支給している。 ・4S(整理、整頓、清掃、清潔)運動を実施している。 ・ドライブレコーダーを全車に設置し、運転状況に応じた車両運行に関する安全教育を実施している。				3				8											
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・ドライバーのメンタルヘルスを良好に維持するため、管理職は、ドライバーと積極的にコミュニケーションを図っている(精神面・体調面への気遣い・悩みを聞くなど)。 【予定】今後、メンタルヘルス診断を導入するほか、管理者向けにメンタル研修も実施する。				3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・積極的に多様な人材の採用・管理職登用を進めるとともに、女性に対しては設備面等で社内環境を整備している。 ・上記取り組みにより、多様な人材の活躍を確認している(女性の直近採用2名、女性管理職の任命、女性・障がいの有無を問わないドライバーの在籍)。 【予定】2030年までに女性の雇用率を15%に引き上げる。 【予定】65歳を過ぎても安全安心に働ける職種に付けるよう高齢者用の業務を開発する					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・安全担当による定期的な安全教育のほか、新人教育も実施している。 ・安全教育はウェブを使用し、ビデオ研修・課題提出等活発に行なっている。 ・管理者教育は営業会議の際に定期的に開催している。 ・事故時の机上・添乗教育の実施。 ・運行管理者資格の取得を奨励し、取得者には奨励金を支給している。 ・外部講師による研修を行っている。				4	5.5			8	9										
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・公正な待遇を給与規程に定め、女性・障がい者のドライバーに対しても区別することなく対応している。 ・能力や経験に見合った待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・健康診断は法定項目以外にも検査を実施し、業務形態によって年1回、年2回と分けている。 ・健康診断の結果を踏まえた本社フォローを実施している。 ・感染症予防促進のため、予防接種等には一部負担金や奨励金を支給している。 ・健康管理のため、事業所には血圧計、パルスオキシメーターを設置している。 ・事務所、休憩室等室内は禁煙にし、屋外でも喫煙場所を定めている。 【予定】今後も健康診断の検査項目を増やす。				3				8											
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・法令に基づく適正処理のため、廃油、廃タイヤ、一般廃棄物等は、社内で完全分別のうえ許可取得専門業者へ処理を依頼している。										11.6	12.4		14.1						
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・電気使用量・軽油使用量を把握し、車両については走行距離から温室効果ガス排出量を把握する。また、この結果は社内で共有していく。							7.3					13							
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・燃費の向上については全社で取り組んでいる。・老朽化した車両については、新車への入れ替えを順次進めている。 ・排出・抑制状況を把握し社内で共有している。車両の燃費向上を目指し、エコドライブとアイドリング抑制を進め、社内にて燃費表彰を行っている								7.2 7.3			12.4	13.3							
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【非該当】		・現在、取扱いなし				3.9		6.3				11.6	12.4								

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定